

平成22年度 第4回 藤島地域審議会次第

日時 平成22年12月17日(金)
午前10時～

場所 3階大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 協 議

(1)地域後継者の育成方策について

(2)その他

4 その他

5 閉 会

1. 少子化及び未婚者等の状況

① 少子化の状況

年齢3区分人口（藤島地域）

（単位：人）

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平2－平17
年少人口(0～14歳)	2,464 18.9%	2,063 16.6%	1,839 15.0%	1,609 13.9%	855
生産年齢人口(15歳～64歳)	8,168 62.8%	7,569 61.0%	7,325 59.6%	6,754 58.2%	1,414
老年人口(65歳以上)	2,379 18.3%	2,782 22.4%	3,130 25.5%	3,232 27.9%	-853
合計	13,011	12,414	12,294	11,595	1,416

（資料：国勢調査）

② 20歳～49歳年齢別未婚者数、未婚率

（単位：人）

	男				女			
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
20～24歳	226 95.8%	241 85.8%	255 87.6%	2,672 89.9%	176 80.0%	220 81.8%	207 80.5%	2,375 83.9%
25～29	176 55.0%	166 67.5%	198 58.8%	2,416 63.8%	79 26.7%	94 35.3%	118 40.3%	1,722 48.3%
30～34	102 26.2%	82 26.5%	105 36.7%	1,710 41.3%	24 5.7%	27 9.2%	32 11.3%	1,041 24.8%
35～39	74 14.0%	81 21.4%	66 20.5%	1,185 31.1%	14 2.8%	18 4.2%	17 5.3%	567 14.6%
40～44	39 7.8%	64 12.5%	64 16.2%	931 22.7%	8 1.7%	9 1.9%	19 4.3%	357 8.4%
45～49	13 3.6%	35 7.1%	56 10.7%	874 18.8%	5 1.6%	7 1.5%	8 1.7%	231 4.9%

※平成17年の人数、割合は鶴岡市全体の数値である。

（資料：国勢調査）

- 少子化の状況では、平成2年と平成17年を比較すると、年少人口で855人減となり、逆に老年人口で853人増となっている。
- 20歳～49歳の年齢別未婚者数、未婚率は、男女とも平成2年から平成17年(平成17年は市全体の数値)まで全般的に未婚者の割合は増加傾向にある。
男では、30～34歳の階級から45～49歳の階級まで、未婚者の割合は増加している。
女では、25～29歳の階級から40～44歳の階級で、未婚者の割合は増加している。

2. 自治組織の状況

① 地区別、世帯数別集落数 (H22.11.30 現在) (単位：町内会、%)

地区名	0~10	11 ~20	21 ~30	31 ~40	41 ~50	51 ~60	61 ~70	71 ~80	81 ~90	90 ~99	100 以上	計
藤島	1	2	2	3	2		1	1			6	18
東栄	1	5	4	7	2							19
八栄島						2	1		1			4
長沼			1	3	2	2						8
渡前		1	3	3	1	1	1		2			12
計	2	8	10	16	7	5	3	1	3		6	61
構成率	3.3	13.1	16.4	26.2	11.6	8.2	4.9	1.6	4.9		9.8	100.0

② 年齢構成別人口 (H22.3.31 現在) (単位：人、%)

	男	女	計	構成率		男	女	計	構成率
~6	308	328	636	5.50	50代	898	897	1,795	15.70
7~12	340	292	632	5.50	60~64	437	436	873	7.60
13~15	168	187	355	3.10	65~69	340	323	663	5.80
16~18	152	175	327	2.90	70代	650	882	1,532	13.40
19	33	37	70	0.60	80代	350	675	1,025	8.90
20代	502	461	963	8.40	90代	30	122	152	1.30
30代	626	585	1,211	10.60	100以上	0	5	5	0.00
40代	619	607	1,226	10.70	計	5,453	6,012	11,465	100

③ 現状と課題

10世帯以下の世帯で構成されている町内会が2町内会(3.3%)、11~30世帯が18町内会(29.5%)、31~50世帯が23町内会(37.8%)、51~99世帯が12町内会(19.7%)、100世帯以上が6町内会(9.8%)となっています。小規模集落の定義はないものの50世帯以下の町内会が43町内会と約70%となっており、また、人口構成では、50歳以上の割合が約半数を占めている状況にあります。

町内会からの声を聞いてみると

- 1) 役員のなり手がいないため、順番制にしている。
- 2) いくつもの役員を兼務している。
- 3) 負担が大きい。
- 4) 共同作業の参加者が減ってきている
- 5) 子どもが少ないため事業が行えない。
- 6) 家が少ないので、災害時の対応が十分にできるか不安。

などの、問題点が出されている。

3. 消防団の状況

鶴岡市消防団は、災害時の指揮命令系統を一本化し、大規模災害の対応できるよう平成20年4月に1つの消防団として発足しました。現在9方面隊(鶴岡第1(309)、鶴岡第2(379)、鶴岡第3(332)、鶴岡第4(358)、藤島(520)、羽黒(458)、櫛引(365)、朝日(274)、温海(445))で組織され、団員数3,473名(本団(6)、女性消防隊(27))の組織となっています。

① 鶴岡市消防団藤島方面隊団員の充足率 分団別団員充足率(単位:人、%)

	構成町内会	定数	現員数	充足率
方面隊本部	隊長、副隊長、分団長、団員	13	9	69.2
第1分団 (9班)	上町、新町、駅前、中町、下町、藤の花、新屋敷、上平形、下平形	97	95	97.9
第2分団 (9班)	古郡、大川渡、谷地興屋、野田目、下中野目、越後京田、藤岡、須走、三和	77	74	96.1
第3分団 (16班)	東栄地区19町内会 添川は3班、平足・上川尻で1班構成	137	135	98.5
第4分団 (11班)	八栄島地区4町内会、長沼地区8町内会 温泉・西小路で1班構成	98	95	96.9
第5分団 (11班)	渡前地区12町内会 和名川・砂塚で1班構成	98	97	99.0
計 (56班)		520	505	97.1

年齢構成別団員数(単位:人、%)

	10代	20代	30代	40代	50代	計
方面隊本部	0	0	3	4	2	9
第1分団	1	22	56	16	0	95
第2分団	0	31	34	9	0	74
第3分団	0	46	64	23	2	135
第4分団	0	26	55	13	1	95
第5分団	0	35	56	6	0	97
計	1	160	268	71	5	505
構成比	0.2	31.7	53.1	14.0	1.0	100.0

② 将来の推移

旧藤島町消防団は、平成15年4月に組織の改編を行い現在の体制になっています。

内容は、分団を4分団制から5分団制に移行(藤島地区を2つの分団に分割)、班の統合(三和3班を1班、十文字2班を1班、大半田2班を1班、和名川・砂塚2班を1班)、班員定数の変更(越後京田、工藤は8名から6名、八色木上は11名から8名、上町・新町・駅前・下町・藤の花は8名から11名)を行ったものです。

現在、数班に欠員が生じている状況にあり、再編が必要との声があることも事実だが、冬期間の交通状況、集落間の距離並びに集落規模等を思慮し、町内会の意見を頂きながら検討を進めて行くべきと考えています。

4. 伝統文化（団体の状況、担い手の状況）

① 団体の状況

No.	伝統芸能名称	保存会	指定文化財	上演	最後の上演
1	大谷獅子踊	○		隔年	H20
2	須走獅子踊	○		S27以降なし	S26
3	両所神社御獅子舞	○	市指定無形民俗	毎年	
4	東堀越獅子踊	○		毎年	
5	無音獅子踊	○		S28以降なし	S27
6	八色木獅子踊	○		隔年	H22
7	豊栄獅子踊	○		隔年	H 5
8	小中島獅子踊	×		S27以降なし	S26
9	渡前獅子踊	○		隔年	H13
10	古郡神楽	○	市指定無形民俗	毎年	
11	六所神社神楽	○		毎年	
12	長沼八幡神社神楽	○		毎年	
13	両所神社三役(奴振り)	○		毎年	
14	両所神社御神輿渡御	×		毎年	

② 担い手の状況

- ・ 踊りたいという有志がいる一方で、若者が少ないためなかなか踊ることができない。
 - ・ 就業構造の変化等により時間の調整が難しく、後継者の確保ができない。
 - ・ 毎年奉納しているところでも全体的に若者が少なくなってきており先行きを案じている。
 - ・ 昔は村生まれの長男に限っていたが、今は区別していないし、村を越えて広く公募しているところもある。
 - ・ 長い年月上演していないため、実際に踊ったことのある人が少なくなり、復活は難しい。
 - ・ 獅子頭がかなり痛んできている。
 - ・ 東栄小学校と渡前小学校においては、地域の伝統を学ぶということで学習の中に獅子踊りを取り入れ、様々な場で練習の成果を発表し、次の学年へと引き継いでいる。
- 各地域に伝わる獅子踊りを自分たちも受け継いでいくのだという意識を培ってくれればと願っている。

5. 藤島地域の商業の推移

商店数・従事者数

【単位：事業所、人】

			平成9年	平成14年	平成16年	平成19年	平成19年 平成9年
			商店数	卸売業	山形県	3,692	3,477
鶴岡市	416	381			369	341	82.0%
藤島地域	6	9			14	9	150.0%
小売業	山形県	17,122		15,644	15,041	13,710	80.1%
	鶴岡市	2,196		1,992	1,940	1,738	79.1%
	藤島地域	140		116	109	102	72.9%
計	山形県	20,814		19,121	18,592	16,906	81.2%
	鶴岡市	2,612		2,373	2,309	2,079	79.6%
	藤島地域	146		125	123	111	76.0%
従事者数	卸売業	山形県	30,283	27,934	27,488	24,681	81.5%
		鶴岡市	2,883	2,536	2,360	2,124	73.7%
		藤島地域	38	65	84	58	152.6%
	小売業	山形県	75,689	79,908	78,081	74,401	98.3%
		鶴岡市	9,040	9,410	9,410	8,745	96.7%
		藤島地域	623	626	598	564	90.5%
	計	山形県	105,972	107,842	105,549	99,082	93.5%
		鶴岡市	11,923	12,129	11,769	10,869	91.2%
		藤島地域	661	708	682	622	94.1%

(商業統計調査より)

年間商品販売額・1事業所あたり販売額

【単位：万円】

			平成9年	平成14年	平成16年	平成19年	平成19年 平成9年
			販売額	卸売業	山形県	202,203,116	166,873,588
鶴岡市	12,979,324	8,618,889			8,790,479	8,456,829	65.2%
藤島地域	154,695	234,705			243,738	208,209	134.6%
小売業	山形県	147,040,674		129,988,684	123,447,444	122,219,886	83.1%
	鶴岡市	16,223,590		14,640,184	14,281,441	13,639,514	84.1%
	藤島地域	1,004,044		948,307	899,149	904,760	90.1%
計	山形県	349,243,790		296,862,272	283,316,079	270,274,753	77.4%
	鶴岡市	29,202,914		23,558,673	22,286,424	22,096,343	75.7%
	藤島地域	1,158,739		1,183,012	1,142,887	1,112,969	96.1%
1事業所あたり	卸売業	山形県	54,768	47,994	45,021	46,325	84.6%
		鶴岡市	31,200	22,622	23,822	24,801	79.5%
		藤島地域	25,782	26,078	17,410	23,134	89.7%
	小売業	山形県	8,588	8,309	8,207	8,915	103.8%
		鶴岡市	7,388	7,349	7,362	7,848	106.2%
		藤島地域	7,172	8,175	8,249	8,870	123.7%
	計 (平均)	山形県	16,779	15,525	15,239	15,987	95.3%
		鶴岡市	11,180	9,928	9,652	10,628	95.1%
		藤島地域	7,936	9,464	9,292	10,027	126.3%

(商業統計調査より)

※鶴岡市の平成9年から平成16年の各数値は、旧鶴岡市、旧藤島町、旧羽黒町、旧櫛引町、旧朝日村、旧温海町の合計数値である。